

教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の 量の見込みと確保方策（案）

（教育・保育提供区域の設定）

教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供にあたり、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設整備の状況等を総合的に勘案して定める、「教育・保育提供区域」については、前期計画を踏襲して、コミュニティセンターの圏域（コミセンエリア）を教育・保育提供区域とします。

【各コミセンエリアの概要】

（人・か所）

コ ミ セ ン エ リ ア	人 口	（うち、小学生までの子どもの人口）			幼 稚 園 数	認 定 こ ど も 園 数	認 可 保 育 所 等 数
		0～5歳	6～8歳	9～11歳			
西北	41,456	1,890	1,008	1,056	2	3	3
東北	45,881	1,910	1,146	1,288	2	3	6
東	36,491	1,956	991	848	2	3	6
西	38,952	1,397	844	905	1	4	5
西南	39,057	1,540	928	1,037	2	5	5
南	31,059	1,408	661	661	1	2	7
合計	232,896	10,101	5,578	5,795	10	20	32

（平成 31 年 4 月 1 日現在）

(計画期間の人口推計)

計画期間中の児童数について、住民基本台帳人口（平成 27～31 年・各年 4 月 1 日時点）をもとに、コーホート変化率法により推計しました。

【計画期間中の推計人口（暫定値）】

(人)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
0～2 歳	4,695	4,620	4,558	4,405	4,259
3～5 歳	5,097	4,882	4,623	4,493	4,417
6～8 歳	5,446	5,277	5,121	4,956	4,749
9～11 歳	5,700	5,553	5,531	5,400	5,235
合計	20,938	20,332	19,833	19,254	18,660

西北	0～2 歳	925	869	859	832	806
	3～5 歳	896	916	898	868	816
	6～8 歳	960	928	891	856	874
	9～11 歳	1,071	1,016	989	941	910
	合計	3,852	3,729	3,637	3,497	3,406
東北	0～2 歳	842	834	809	784	759
	3～5 歳	1,003	941	893	900	890
	6～8 歳	1,132	1,129	1,097	1,024	963
	9～11 歳	1,255	1,188	1,170	1,155	1,152
	合計	4,232	4,092	3,969	3,863	3,764
東	0～2 歳	951	952	953	925	899
	3～5 歳	948	899	828	807	807
	6～8 歳	999	963	914	883	839
	9～11 歳	855	904	987	995	959
	合計	3,753	3,718	3,682	3,610	3,504
西	0～2 歳	643	636	623	596	570
	3～5 歳	733	696	644	618	611
	6～8 歳	780	720	705	712	676
	9～11 歳	864	844	831	768	709
	合計	3,020	2,896	2,803	2,694	2,566
西南	0～2 歳	669	684	679	655	633
	3～5 歳	801	727	686	647	660
	6～8 歳	912	859	809	781	709
	9～11 歳	969	923	905	889	839
	合計	3,351	3,193	3,079	2,972	2,841
南	0～2 歳	665	645	635	613	592
	3～5 歳	716	703	674	653	633
	6～8 歳	663	678	705	700	688
	9～11 歳	686	678	649	652	666
	合計	2,730	2,704	2,663	2,618	2,579

※コーホート変化率法:各コーホート(同年出生集団)について、過去における実績人口の動勢から求めた「変化率」に基づき推計する方法。

(量の見込み算出の考え方)

幼稚園や保育所等の整備、地域子ども・子育て支援事業の実施について、前期計画の実績並びにニーズ調査の結果等から必要とされる量の見込みを算出し、その提供体制の確保の内容及び実施時期を定めます。

1 「認定区分」と「家庭類型」

(1) 認定区分

教育・保育施設を利用する子どもに対して、家庭の状況（保護者の就労状況等）により、保育の必要性を認定します。

認定区分		保育の必要性	対象児童
1号認定	教育標準時間認定	必要なし	3～5歳児
2号認定	保育認定	必要あり	3～5歳児
3号認定	保育認定	必要あり	0～2歳児

(2) 家庭類型

ニーズ調査の結果から、対象となる子どもの父母の有無、就労状況に基づき、タイプAからタイプFの8種類に類型化し、母親の就労希望を反映させた“潜在的家庭類型”の種類ごとに算出します。

父親		母親		パートタイム就労（産休・育休含む）			未就労	
				120時間以上	120時間未満 64時間以上	64時間未満		
ひとり親		ひとり親		タイプA				
フルタイム就労 （産休・育休等を含む）		フルタイム就労 （産休・育休等を含む）		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD	
パートタイム就労 （産休・育休等を含む）	120時間以上	タイプC		↑	タイプE	タイプE'		
	120時間未満 64時間以上	タイプC'						
	64時間未満							
未就労		未就労		タイプD			↑	タイプF

保育の必要性あり
保育の必要性なし

- タイプA : ひとり親家庭（母子又は父子家庭）
 - タイプB : フルタイム共働き家庭（両親ともフルタイムで就労している家庭）
 - タイプC : フルタイム・パートタイム（就労時間：月120時間以上＋月64時間～120時間の一部）共働き家庭
 - タイプC' : フルタイム・パートタイム（就労時間：月64時間未満＋月64時間～120時間の一部）共働き家庭
 - タイプD : 専業主婦（夫）家庭
 - タイプE : パートタイム共働き家庭（就労時間：双方が月120時間以上＋月64時間～120時間の一部）
 - タイプE' : パートタイム共働き家庭（就労時間：いずれかが月64時間未満＋月64時間～120時間の一部）
 - タイプF : 無業の家庭（両親とも無職の家庭）
- ※産前・産後・育児・介護休業取得中の人も就労しているとみなして分類しています。

2 量の見込みの算出項目

下記の事業について、量の見込みの算出を行います。

(1) 【 教育・保育の量の見込み 】

	対象事業	対象家庭	対象児童	区域設定
ア	幼稚園、認定こども園（幼稚園部分） 【1号認定】	専業主婦(夫)家庭 就労時間が短い家庭	3～5歳児	コミセン エリア
イ	保育所、認定こども園（保育所部分）等 【2・3号認定】	ひとり親家庭 共働き家庭	0～5歳児	コミセン エリア

(2) 【 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み 】

	対象事業	対象家庭	対象児童等	区域設定
ウ	利用者支援事業	すべての家庭	—	市全域
エ	延長保育事業	ひとり親家庭 共働き家庭	0～5歳児	コミセン エリア
オ	放課後児童健全育成事業 （留守家庭児童会）	ひとり親家庭 共働き家庭	小学校1～ 6年生	コミセン エリア
カ	子育て短期支援事業 （ショートステイ、トワイライトステイ）	すべての家庭	0～18歳	市全域
キ	乳児家庭全戸訪問事業 （こんにちは赤ちゃん訪問）	すべての家庭	生後4か月	市全域
ク	養育支援訪問事業 （養育支援訪問事業、育児援助・家事援助 事業）	すべての家庭	出産予定日の2 か月前～生後6 か月 （育児援助・家事援 助事業）	市全域
ケ	地域子育て支援拠点事業 （子育て支援センター、つどいの広場）	すべての家庭	0歳～就学前(子 育て支援センタ ー) 0～おおむね3 歳未満(つどいの 広場)	コミセン エリア
コ	一時預かり事業 （幼稚園型）	幼稚園利用の家庭	3～5歳児	コミセン エリア
	（幼稚園型を除く）	すべての家庭	0～5歳児	コミセン エリア
サ	病児保育事業	ひとり親家庭 共働き家庭	0歳～ 小学校6年生	市全域
シ	ファミリー・サポート・センター事業	すべての家庭	0歳～小学校6 年生	市全域
ス	妊婦健康診査	すべての家庭	妊娠中の人	市全域
セ	実費徴収に係る補足給付を行う事業	就園奨励費対象となる 私立幼稚園に子どもを 通わせる一定所得以下 の家庭	左記家庭の園児 及び第3子以降 の園児	市全域
ソ	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	すべての家庭	—	市全域

3 量の見込み算出の手順

国が示すニーズ調査結果を用いた量の見込みの算出手順は以下の通りです。

ステップ1

～家庭タイプの算出～

アンケート回答者を両親の就労状況（一部施設の利用状況を含む。）でタイプを分類します。

タイプAからタイプFの8つの家庭タイプがあります。

ステップ2

～潜在的家庭タイプの算出～

ステップ1の家庭タイプからさらに、両親の今後1年以内の就労意向を反映させて、タイプを分類します。

ステップ3

～潜在的家庭タイプ別の将来児童数の算出～

計画期間の推計児童数と各潜在家庭タイプの構成比に基づき、潜在家庭タイプ別の推計児童数を算出します。

ステップ4

～事業別の対象となる児童数の算出～

事業ごとに対象となる家庭タイプを踏まえて、該当事業別の児童数を算出します。

たとえば、保育所や放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会）等の利用は保育を必要とする家庭に限定されています。

ステップ5

～利用意向率の算出～

該当事業別に、対象となる潜在的家庭タイプにおける利用希望から「利用意向率」（利用希望者数／該当事業別の回答者数）を算出します。

ステップ6

～量の見込み算出～

該当事業の対象となる児童数に利用意向率を掛け、量の見込みを算出します。

将来児童数を掛け合わせることで、令和2年度から令和6年度まで各年度の量の見込みが算出されます。

国では、上記を基本としつつ、地域特性や施設整備等の状況に応じた自治体の独自設定も認めています。算出された量の見込みと実際の利用状況とに大きな差異がある場合、見込み量の補正を行う必要があります。以下の視点から補正値を検討しました。

- 過去の利用状況と比較して、多過ぎる、又は、少な過ぎる見込みになっていないか。
- 見込み量を算出するに当たっての考え方は適切か。
- 確保方策の検討にあたり留意すべき視点はありますか。
- 教育・保育の無償化実施後の影響を見込んでいるか。

教育・保育の量の見込みと確保方策

ア 幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）【1号認定】

【事業概要】

満3歳以上で保育を必要としない（1号認定及び2号認定で教育を希望する者）、小学校就学前の子どもが利用できます。

【実績】

各年5月1日現在における在籍者数・定員

（人・か所）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績	1号認定					
	2号認定相当※1					
	合計◎	2,782	2,791	2,634	2,500	2,315
確保量	特定教育・保育施設※2	515	480	829	1,221	1,216
	上記以外の施設※3	3,273	3,289	3,270	2,140	2,175
	市外施設	523	559	510	482	419
	合計◎	4,311	4,328	4,609	3,843	3,810
過不足（◎－◎）		1,529	1,537	1,975	1,343	1,495
市内実施箇所数		14	14	21	24	29

- ※1 保護者の就労時間が2号認定相当の時間であっても、幼稚園の利用のみを希望する場合は、1号認定となります。
 ※2 子ども・子育て支援新制度に伴い、新たに創設された財政支援の仕組みである「施設型給付」の対象となる施設。
 ※3 子ども・子育て支援新制度に移行しない私立幼稚園（今後、新制度へ移行することにより、数値が変わる可能性があります。）。

【今後の方向性】

通園バスの利用により、市外を含め、近隣以外の幼稚園を利用している家庭も多く、市域全体ではニーズに対応していますが、幼児教育無償化等の影響も踏まえ、引き続き、幼稚園等在籍者数に対して、市内施設での定員（量）を確保します。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

（人・か所）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み	1号認定	1,715	1,578	1,445	1,406	1,384
	2号認定相当	586	539	496	481	472
	合計㊤	2,301	2,117	1,941	1,887	1,856
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	1,188	1,188	1,188	1,188	1,188
	上記以外の施設	2,175	2,175	2,175	2,175	2,175
	市外施設	419	419	419	419	419
	合計㊦	3,782	3,782	3,782	3,782	3,782
過不足（㊦－㊤）		1,481	1,665	1,841	1,895	1,926
市内実施箇所数		30	30	30	30	30

【量の見込みと確保方策】（区域別）

（人・か所）

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西 北	量の 見込み	1号認定	321	295	270	263	259
		2号認定相当	110	101	93	90	88
		合計㊸	431	396	363	353	347
	確保 方策 (提供量)	特定教育・ 保育施設	165	165	165	165	165
		上記以外の施設	440	440	440	440	440
		市外施設	4	4	4	4	4
		合計㊹	609	609	609	609	609
	過不足（㊹－㊸）		178	213	246	256	262
	実施箇所数		6	6	6	6	6
	東 北	量の 見込み	1号認定	436	402	368	358
2号認定相当			149	137	126	122	120
合計㊸			585	539	494	480	472
確保 方策 (提供量)		特定教育・ 保育施設	266	266	266	266	266
		上記以外の施設	925	925	925	925	925
		市外施設	50	50	50	50	50
		合計㊹	1,241	1,241	1,241	1,241	1,241
過不足（㊹－㊸）		656	702	747	761	769	
実施箇所数		4	4	4	4	4	
東		量の 見込み	1号認定	351	323	296	288
	2号認定相当		120	110	101	98	97
	合計㊸		471	433	397	386	380
	確保 方策 (提供量)	特定教育・ 保育施設	334	334	334	334	334
		上記以外の施設	405	405	405	405	405
		市外施設	41	41	41	41	41
		合計㊹	780	780	780	780	780
	過不足（㊹－㊸）		309	347	383	394	400
	実施箇所数		5	5	5	5	5

（人・か所）

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西	量の見込み	1号認定	259	238	218	212	209
		2号認定相当	88	81	75	73	71
		合計㊤	347	319	293	285	280
	確保方策(提供量)	特定教育・保育施設	49	49	49	49	49
		上記以外の施設	405	405	405	405	405
		市外施設	13	13	13	13	13
		合計㊤	467	467	467	467	467
	過不足(㊤-㊤)		120	148	174	182	187
	実施箇所数		5	5	5	5	5
	西南	量の見込み	1号認定	199	183	168	163
2号認定相当			68	63	58	56	55
合計㊤			267	246	226	219	216
確保方策(提供量)		特定教育・保育施設	286	286	286	286	286
		上記以外の施設	0	0	0	0	0
		市外施設	148	148	148	148	148
		合計㊤	434	434	434	434	434
過不足(㊤-㊤)		167	188	208	215	218	
実施箇所数		6	6	6	6	6	
南		量の見込み	1号認定	149	137	125	122
	2号認定相当		51	47	43	42	41
	合計㊤		200	184	168	164	161
	確保方策(提供量)	特定教育・保育施設	88	88	88	88	88
		上記以外の施設	0	0	0	0	0
		市外施設	163	163	163	163	163
		合計㊤	251	251	251	251	251
	過不足(㊤-㊤)		51	67	83	87	90
	実施箇所数		4	4	4	4	4

イ 保育所、認定こども園（保育所部分）等【2・3号認定】

【事業概要】

保護者が就労や疾病等により、保育を必要とする0～5歳（2号認定（3～5歳）及び3号認定（0～2歳））の子どもが利用できます。

【実績】

各年4月1日現在における在籍者数・定員

（人・か所）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績	2号認定（3～5歳）	2,496	2,581	2,622	2,645	2,673
	3号認定（0歳）	211	241	227	219	232
	3号認定（1・2歳）	1,491	1,508	1,562	1,612	1,584
	合計㊸	4,198	4,330	4,411	4,476	4,489
確保量	2号認定（3～5歳）	2,418	2,444	2,479	2,593	2,613
	3号認定（0歳）	348	349	349	350	352
	3号認定（1・2歳）	1,499	1,532	1,557	1,551	1,568
	合計㊹	4,265	4,325	4,385	4,494	4,533
過不足（㊸－㊹）		67	△5	△26	18	44
市内実施箇所数		42	42	43	51	52

【今後の方向性】

近年、育児休業中の保育所入所申請数が大幅に増加していることから、1～2歳児の保育ニーズに対応できるようにする必要があります。駅周辺地域を中心に、ニーズ量の見込みが現行の定員を大幅に上回る地域があるため、市域全体で保育所の定員を拡充し、受入体制を確保していきます。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

（人・か所）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み	2号認定（3～5歳）	2,676	2,651	2,575	2,503	2,460
	3号認定（0歳）	252	257	249	240	232
	3号認定（1・2歳）	1,565	1,621	1,681	1,645	1,590
	合計㊸	4,493	4,529	4,505	4,388	4,282
確保方策 （提供量）	2号認定（3～5歳）	2,676	2,656	2,607	2,607	2,607
	3号認定（0歳）	254	257	249	249	249
	3号認定（1・2歳）	1,607	1,624	1,681	1,681	1,681
	合計㊹	4,537	4,537	4,537	4,537	4,537
過不足（㊹－㊸）		44	8	32	149	255
市内実施箇所数		53	53	53	53	53

【量の見込みと確保方策】（区域別）

（人・か所）

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西 北	量の 見込み	2号認定 （3～5歳）	466	485	481	466	443
		3号認定 （0歳）	49	50	48	47	46
		3号認定 （1・2歳）	315	305	316	310	301
		合計④	830	840	845	823	790
	確保 方策 （提供 量）	2号認定 （3～5歳）	438	438	433	433	433
		3号認定 （0歳）	56	56	56	56	56
		3号認定 （1・2歳）	246	246	251	251	251
		合計⑤	740	740	740	740	740
	過不足（⑤－④）		△90	△100	△105	△83	△50
	実施箇所数		6	6	6	6	6
東 北	量の 見込み	2号認定 （3～5歳）	516	503	489	488	482
		3号認定 （0歳）	45	47	45	44	42
		3号認定 （1・2歳）	286	297	300	294	285
		合計④	847	847	834	826	809
	確保 方策 （提供 量）	2号認定 （3～5歳）	375	375	375	375	375
		3号認定 （0歳）	47	47	43	43	43
		3号認定 （1・2歳）	258	258	262	262	262
		合計⑤	680	680	680	680	680
	過不足（⑤－④）		△167	△167	△154	△146	△129
	実施箇所数		9	9	9	9	9

※ 不足が生じている地域については、隣接地域での受入れにより対応します。

(人・か所)

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
東	量の見込み	2号認定 (3～5歳)	495	485	462	449	448
		3号認定 (0歳)	80	80	80	77	75
		3号認定 (1・2歳)	305	324	341	336	325
		合計④	880	889	883	862	848
	確保方針 (提供量)	2号認定 (3～5歳)	411	391	393	393	393
		3号認定 (0歳)	42	45	41	41	41
		3号認定 (1・2歳)	245	262	264	264	264
		合計⑤	698	698	698	698	698
	過不足(⑤-④)		△182	△191	△185	△164	△150
	実施箇所数		10	10	10	10	10
西	量の見込み	2号認定 (3～5歳)	390	385	369	355	350
		3号認定 (0歳)	20	20	19	16	15
		3号認定 (1・2歳)	214	225	234	226	217
		合計④	624	630	622	597	582
	確保方針 (提供量)	2号認定 (3～5歳)	503	503	486	486	486
		3号認定 (0歳)	43	43	43	43	43
		3号認定 (1・2歳)	294	294	311	311	311
		合計⑤	840	840	840	840	840
	過不足(⑤-④)		216	210	218	243	258
	実施箇所数		9	9	9	9	9

※ 不足が生じている地域については、隣接地域での受入れにより対応します。

(人・か所)

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西 南	量の 見込み	2号認定 (3～5歳)	434	415	404	385	387
		3号認定 (0歳)	49	48	46	45	43
		3号認定 (1・2歳)	219	241	254	248	238
		合計㊸	702	704	704	678	668
	確保 方策 (提供量)	2号認定 (3～5歳)	449	449	439	439	439
		3号認定 (0歳)	29	29	29	29	29
		3号認定 (1・2歳)	277	277	287	287	287
		合計㊹	755	755	755	755	755
	過不足(㊹-㊸)		53	51	51	77	87
	実施箇所数		10	10	10	10	10
南	量の 見込み	2号認定 (3～5歳)	375	378	370	360	350
		3号認定 (0歳)	9	12	11	11	11
		3号認定 (1・2歳)	226	229	236	231	224
		合計㊸	610	619	617	602	585
	確保 方策 (提供量)	2号認定 (3～5歳)	500	500	481	481	481
		3号認定 (0歳)	37	37	37	37	37
		3号認定 (1・2歳)	287	287	306	306	306
		合計㊹	824	824	824	824	824
	過不足(㊹-㊸)		214	205	207	222	239
	実施箇所数		9	9	9	9	9

※ 不足が生じている地域については、隣接地域での受入れにより対応します。

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

ウ 利用者支援事業

【事業概要】

教育・保育施設や地域の子育て支援の事業等の利用について情報集約と提供を行うとともに、子どもや保護者からのそれらの利用にあたっての相談に応じ、それらの人々に必要な情報提供・助言等を行います。

【実績】

(か所)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績④	2	2	2	6	6
確保量⑤	2	2	2	6	6
過不足 (⑤－④)	0	0	0	0	0

【今後の方向性】

地域子育て支援拠点において、子どもやその保護者、妊娠している人が、教育・保育施設や地域子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、支援していきます。

【量の見込みと確保方策】(市域全体)

(か所)

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
※1 量の見込み	基本型※2・特定型※3	4	4	4	4	4
	母子保健型※4	2	2	2	2	2
	合計④	6	6	6	6	6
(提供量) 確保方策	基本型・特定型	4	4	4	4	4
	母子保健型	2	2	2	2	2
	合計⑤	6	6	6	6	6

- ※1 国の示す「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方」に基づき、「基本型・特定型」「母子保健型」に分けて量の見込みを算出しました。
- ※2 「基本型」:「利用者支援」と「地域連携」を共に実施する形態(主として、行政窓口以外で、親子が継続的に利用できる施設を活用します。)
- ※3 主に「利用者支援」を実施する形態(主として、行政機関の窓口等を活用します。)
- ※4 助産師等の専門職が全ての妊産婦等を対象に「利用者支援」と「地域連携」を共に実施する形態(主として、子育て世代包括支援センターを活用します。)

エ 延長保育事業

【事業概要】

保育所、認定こども園等における在園児を対象に、保育時間（標準時間（11 時間）、短時間（8時間））を超えて保育を実施する事業です。

【実績】

（人・か所）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績㊶	2,086	1,971	2,117	2,359	2,442
確保量㊷	2,086	1,971	2,117	2,359	2,442
過不足（㊷－㊶）	0	0	0	0	0
市内実施箇所数	42	42	42	44	44

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

就労形態の変化等により多様化する保育ニーズに対応するとともに、保育士の確保を図ります。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

（人・か所）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み㊸	2,765	2,683	2,592	2,512	2,449
確保方策（提供量）㊹	2,765	2,683	2,592	2,512	2,449
過不足（㊹－㊸）	0	0	0	0	0
市内実施箇所数	44	44	44	44	44

【量の見込みと確保方策】（区域別）

（人・か所）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西北	量の見込み㊿	514	504	496	480	458
	確保方策（提供量）㊾	514	504	496	480	458
	過不足（㊾－㊿）	0	0	0	0	0
	実施箇所数	6	6	6	6	6
東北	量の見込み㊿	521	501	480	475	465
	確保方策（提供量）㊾	521	501	480	475	465
	過不足（㊾－㊿）	0	0	0	0	0
	実施箇所数	8	8	8	8	8
東	量の見込み㊿	536	523	503	489	482
	確保方策（提供量）㊾	536	523	503	489	482
	過不足（㊾－㊿）	0	0	0	0	0
	実施箇所数	7	7	7	7	7
西	量の見込み㊿	389	376	358	343	333
	確保方策（提供量）㊾	389	376	358	343	333
	過不足（㊾－㊿）	0	0	0	0	0
	実施箇所数	9	9	9	9	9
西南	量の見込み㊿	415	398	385	368	365
	確保方策（提供量）㊾	415	398	385	368	365
	過不足（㊾－㊿）	0	0	0	0	0
	実施箇所数	7	7	7	7	7
南	量の見込み㊿	390	381	370	357	346
	確保方策（提供量）㊾	390	381	370	357	346
	過不足（㊾－㊿）	0	0	0	0	0
	実施箇所数	7	7	7	7	7

オ 放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会）

【事業概要】

児童に対し、適切な遊びと生活の場を与えるとともに、異なった学年による児童の集団活動を推進し、放課後における児童の健全育成を図ります。

【実績】

(人・校)

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績	低学年	1,754	1,742	1,747	1,753	1,772
	高学年	106	346	388	438	443
	合計㊦	1,860	2,088	2,135	2,191	2,215
確保量㊧		2,025	2,270	2,455	2,500	2,550
過不足 (㊧－㊦)		165	182	320	309	335
市内実施箇所数		24 (45 区画)	24 (55 区画)	24 (57 区画)	24 (59 区画)	24 (62 区画)

※ 各年5月1日現在における入会児童数・定員

【今後の方向性】

放課後の児童の安全安心な遊びや生活の場を確保し、一層児童の健全な育成に努めます。また、保育環境の改善や児童指導員の確保に努めます。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

(人・校)

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み	1 年生	667	647	653	627	603
	2 年生	629	570	556	558	536
	3 年生	422	415	380	369	371
	4 年生	283	279	274	253	244
	5 年生	138	140	139	133	123
	6 年生	71	67	67	65	66
	合計㊦	2,210	2,118	2,069	2,005	1,943
確保方策提供量	合計㊧	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550
	過不足 (㊧－㊦)	340	432	481	545	607
市内実施箇所数		24 (62 区画)	24 (62 区画)	24 (62 区画)	24 (62 区画)	24 (62 区画)

※1 国の示す「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方(改訂版)」に基づき、学年ごとの量の見込みを算出しました。

【量の見込みと確保方策】（区域別）

（人・校）

量の見込み		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
西 北	量の 見 込 み	1年生	126	111	107	118	129
		2年生	106	108	94	93	101
		3年生	69	70	72	64	61
		4年生	54	47	46	48	42
		5年生	25	27	24	22	23
		6年生	12	13	13	11	11
		合計㊦	392	376	356	356	367
西 北	確保 方 策 （ 提 供 量）	合計㊧	430	430	430	430	430
		過不足（㊧－㊦）	38	54	74	74	63
実施箇所数		4 (10 区画)	4 (10 区画)	4 (10 区画)	4 (10 区画)	4 (10 区画)	
東 北	量の 見 込 み	1年生	135	134	130	104	102
		2年生	131	116	116	111	90
		3年生	83	85	77	76	74
		4年生	57	54	56	50	51
		5年生	29	28	27	28	25
		6年生	15	15	13	12	13
		合計㊦	450	432	419	381	355
東 北	確保 方 策 （ 提 供 量）	合計㊧	490	490	490	490	490
		過不足（㊧－㊦）	40	58	71	109	135
実施箇所数		4 (11 区画)	4 (11 区画)	4 (11 区画)	4 (11 区画)	4 (11 区画)	

量の見込み		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
東	量の見込み	1年生	122	117	127	122	120
		2年生	125	104	100	109	105
		3年生	76	82	70	66	72
		4年生	46	50	54	46	44
		5年生	21	23	25	26	23
		6年生	11	10	11	11	13
		合計㊦	401	386	387	380	377
東	確保方策(提供量)	合計㊧	520	520	520	520	520
		過不足(㊧-㊦)	119	134	133	140	143
実施箇所数		4 (12区画)	4 (12区画)	4 (12区画)	4 (12区画)	4 (12区画)	
西	量の見込み	1年生	82	91	96	89	83
		2年生	90	71	78	82	76
		3年生	67	59	47	52	55
		4年生	44	44	39	32	34
		5年生	21	21	22	19	15
		6年生	11	10	10	11	10
		合計㊦	315	296	292	285	273
西	確保方策(提供量)	合計㊧	360	360	360	360	360
		過不足(㊧-㊦)	45	64	68	75	87
実施箇所数		4 (10区画)	4 (10区画)	4 (10区画)	4 (10区画)	4 (10区画)	

量の見込み			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西 南	量の 見 込 み	1年生	112	104	99	101	82
		2年生	105	96	90	83	86
		3年生	75	70	63	59	56
		4年生	47	50	46	43	39
		5年生	23	23	24	23	21
		6年生	13	10	11	12	11
		合計㊸	375	353	333	321	295
西 南	確保 方 策 (提 供 量)	合計㊹	400	400	400	400	400
		過不足(㊹-㊸)	25	47	67	79	105
実施箇所数			4 (9区画)	4 (9区画)	4 (9区画)	4 (9区画)	4 (9区画)
南	量の 見 込 み	1年生	90	90	94	93	87
		2年生	72	75	78	80	78
		3年生	52	49	51	52	53
		4年生	35	34	33	34	34
		5年生	19	18	17	15	16
		6年生	9	9	9	8	8
		合計㊸	277	275	282	282	276
南	確保 方 策 (提 供 量)	合計㊹	350	350	350	350	350
		過不足(㊹-㊸)	73	75	68	68	74
実施箇所数			4 (10区画)	4 (10区画)	4 (10区画)	4 (10区画)	4 (10区画)

カ 子育て短期支援事業

【事業概要】

保護者の疾病や仕事等により、家庭において養育を受けることが一時的に困難になった児童について必要な保護を行う事業で、短期入所生活援助事業（ショートステイ）と夜間養護等事業（トワイライトステイ）があります。

【実績】

（人日・か所）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績 [㊤]	206	175	84	126	170
確保量 [㊥]	206	175	84	126	170
過不足（㊥－㊤）	0	0	0	0	0
市内実施箇所数	4	4	4	4	4

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

本事業を必要とする家庭が利用できるよう適切に対応するとともに、施設の場所等、利用者の利便性について配慮しながら、引き続き、事業を実施していきます。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

（人日・か所）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み [㊤]	131	126	122	119	115
確保方策（提供量） [㊥]	131	126	122	119	115
過不足（㊥－㊤）	0	0	0	0	0
市内実施箇所数	4	4	4	4	4

キ 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）

【事業概要】

生後4か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

【実績】

(人・件)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績（出生数）	1,869	1,781	1,630	1,564	1,482
訪問数	1,623	1,547	1,426	1,370	1,263
確保方策（実施体制）	民生委員・児童委員（69人に訪問員を委嘱）				

※ 各年4月1日から翌年3月31日の間の出生数

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

養育支援訪問事業等とも連携し、子育てを始める保護者の不安を軽減し、必要な支援に結び付けるために、引き続き全戸訪問を実施します。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

(人・件)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み（出生数）	1,583	1,532	1,484	1,430	1,383
訪問数	1,377	1,333	1,291	1,244	1,203
確保方策（実施体制）	民生委員・児童委員（69人に訪問員を委嘱）				

ク 養育支援訪問事業

【事業概要】

養育支援が特に必要と判断された家庭を訪問して、養育に関する助言、指導を行い、家庭内での育児に関する具体的な援助を行う事業です。

【実績】

(人)

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績	養育支援訪問事業	67	71	70	49	61
	育児援助・家事援助事業	29	26	37	42	48
	合計	96	97	107	91	109
確保量	養育支援訪問事業	17	17	17	12	22
	育児援助・家事援助事業	4 団体	4 団体	8 団体	6 団体	10 団体

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

母子保健訪問指導、こんにちは赤ちゃん訪問と連携し、子どもが適切に養育される環境の確保及び保護者の負担軽減を図るため、引き続き実施します。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

(人)

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み	養育支援訪問事業	65	65	65	65	65
	育児援助・家事援助事業	35	35	35	35	35
	合計	100	100	100	100	100
(実施体制) 確保方策	養育支援訪問事業	22	22	22	22	22
	育児援助・家事援助事業	10 団体	10 団体	10 団体	10 団体	10 団体

ケ 地域子育て支援拠点事業

【事業概要】

未就学児とその保護者が気軽に集える場所で、相互交流や子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

【実績】

(人回・か所)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績	152,561	144,373	147,733	137,163	154,471
市内実施箇所数	12	12	12	12	12

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

子育て家庭の交流や情報提供の場として必要な事業であることから、地域子育て支援拠点連絡会議などを通じて連携を密にするとともに、リラットとの連携など、利用者の増加につながる取組を検討します。

【量の見込みと確保方策】(市域全体)

(人回・か所)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み	150,777	148,368	146,377	141,464	136,775
市内実施箇所数	12	12	12	12	12

【量の見込みと確保方策】（区域別）

（人回・か所）

量の見込み		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西 北	量の見込み	29,706	27,908	27,586	26,719	25,884
	実施箇所数	2	2	2	2	2
東 北	量の見込み	27,040	26,783	25,981	25,178	24,375
	実施箇所数	2	2	2	2	2
東	量の見込み	30,541	30,573	30,605	29,706	28,871
	実施箇所数	2	2	2	2	2
西	量の見込み	20,650	20,425	20,007	19,140	18,305
	実施箇所数	2	2	2	2	2
西 南	量の見込み	21,484	21,966	21,806	21,035	20,328
	実施箇所数	2	2	2	2	2
南	量の見込み	21,356	20,713	20,392	19,686	19,012
	実施箇所数	2	2	2	2	2

コ 一時預かり事業

一時預かり事業（幼稚園型）

【事業概要】

幼稚園等が在園児を対象に、教育時間の前後や長期休暇期間等に一時的に預かる事業です。

【実績】

		(人回・か所)				
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績	1号認定					
	2号認定相当					
	合計㊦	41,699	48,732	38,453	28,495	34,473
(提供量)	確保方策					
	合計㊧	98,320	102,466	240,160	54,468	54,756
過不足 (㊧－㊦)		56,621	53,734	201,707	25,973	20,283
市内実施箇所数		8	8	7	5	5

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

※ 第1期計画（平成27年度～令和元年度）においては、私学助成に該当する私立幼稚園による預かり保育を量の見込みと確保方策としています。

【今後の方向性】

共働き世帯において、通常の教育時間と併せて定期的な一時預かり事業の利用希望が高いことから、今後も実施していきます。また、幼児教育無償化等の影響も踏まえ、延べ利用者数に対して、市内施設での受け入れ可能人数を確保していきます。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

		(人日・か所)				
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み	1号認定	28,157	26,967	25,539	24,820	24,401
	2号認定相当	36,656	35,114	33,246	32,314	31,771
	合計㊦	64,813	62,081	58,785	57,134	56,172
(提供量)	確保方策					
	幼稚園型 I	66,885	66,885	66,885	66,885	66,885
	上記以外 (私学助成等)	54,612	54,612	54,612	54,612	54,612
合計㊧		121,497	121,497	121,497	121,497	121,497
過不足 (㊧－㊦)		56,684	59,416	62,712	64,363	65,325
市内実施箇所数		26	26	26	26	26

※ 第2期計画（令和2年度～令和6年度）においては、認定こども園（幼稚園型）と私学助成に該当する私立幼稚園による一時預かり事業の合計を量の見込みと確保方策としています。

【量の見込みと確保方策】（区域別）

（人日・か所）

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西 北	量の 見込み	1号認定	3,976	3,808	3,606	3,505	3,445
		2号認定相当	2,349	2,252	2,132	2,073	2,037
		合計㊸	6,325	6,060	5,738	5,578	5,482
	確保 方策 (提供量)	幼稚園型 I	6,615	6,615	6,615	6,615	6,615
		上記以外 (私学助成等)	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
		合計㊹	17,715	17,715	17,715	17,715	17,715
過不足（㊹－㊸）			11,390	11,655	11,977	12,137	12,233
実施箇所数			5	5	5	5	5
東 北	量の 見込み	1号認定	11,074	10,607	10,045	9,761	9,598
		2号認定相当	12,029	11,522	10,908	10,603	10,424
		合計㊸	23,103	22,129	20,953	20,364	20,022
	確保 方策 (提供量)	幼稚園型 I	13,720	13,720	13,720	13,720	13,720
		上記以外 (私学助成等)	22,491	22,491	22,491	22,491	22,491
		合計㊹	36,211	36,211	36,211	36,211	36,211
過不足（㊹－㊸）			13,108	14,082	15,258	15,847	16,189
実施箇所数			4	4	4	4	4
東	量の 見込み	1号認定	8,419	8,062	7,636	7,421	7,295
		2号認定相当	14,579	13,964	13,222	12,851	12,634
		合計㊸	22,998	22,026	20,858	20,272	19,929
	確保 方策 (提供量)	幼稚園型 I	18,865	18,865	18,865	18,865	18,865
		上記以外 (私学助成等)	14,931	14,931	14,931	14,931	14,931
		合計㊹	33,796	33,796	33,796	33,796	33,796
過不足（㊹－㊸）			10,798	11,770	12,938	13,524	13,867
実施箇所数			4	4	4	4	4

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西	量の 見込み	1号認定	4,535	4,344	4,114	3,998	3,931
		2号認定相当	6,659	6,379	6,040	5,870	5,772
		合計㊸	11,194	10,723	10,154	9,868	9,703
	(提供量) 確保方策	幼稚園型I	12,005	12,005	12,005	12,005	12,005
		上記以外 (私学助成等)	6,090	6,090	6,090	6,090	6,090
		合計㊹	18,095	18,095	18,095	18,095	18,095
過不足(㊹-㊸)			6,901	7,372	7,941	8,227	8,392
実施箇所数			5	5	5	5	5
西 南	量の 見込み	1号認定	153	146	138	135	132
		2号認定相当	1,040	997	944	917	904
		合計㊸	1,193	1,143	1,082	1,052	1,036
	(提供量) 確保方策	幼稚園型I	11,270	11,270	11,270	11,270	11,270
		上記以外 (私学助成等)	0	0	0	0	0
		合計㊹	11,270	11,270	11,270	11,270	11,270
過不足(㊹-㊸)			10,077	10,127	10,188	10,218	10,234
実施箇所数			5	5	5	5	5
南	量の 見込み	1号認定	0	0	0	0	0
		2号認定相当	0	0	0	0	0
		合計㊸	0	0	0	0	0
	(提供量) 確保方策	幼稚園型I	4,410	4,410	4,410	4,410	4,410
		上記以外 (私学助成等)	0	0	0	0	0
		合計㊹	4,410	4,410	4,410	4,410	4,410
過不足(㊹-㊸)			4,410	4,410	4,410	4,410	4,410
実施箇所数			3	3	3	3	3

一時預かり事業（幼稚園型を除く）

【事業概要】

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、保育所その他の場所において、一時的に預かる事業です。

【実績】

（人回・か所）

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
保育所・認定こども園	実績 [Ⓐ]	4,985	5,250	5,191	4,653	4,238
	確保量 [Ⓢ]	15,658	15,814	15,928	15,928	15,928
	過不足（ [Ⓢ] － [Ⓐ] ）	10,673	10,564	10,737	11,275	11,690
	市内実施箇所数	8	8	8	8	8
子育てリフレッシュ館	実績 [Ⓐ]				937	1,376
	確保量 [Ⓢ]				937	1,590
	過不足（ [Ⓢ] － [Ⓐ] ）				0	214
	市内実施箇所数				1	1
合計	実績 [Ⓐ]	4,985	5,250	5,191	5,590	5,614
	確保量 [Ⓢ]	15,658	15,814	15,928	16,865	17,518
	過不足（ [Ⓢ] － [Ⓐ] ）	10,673	10,564	10,737	11,275	11,904
	市内実施箇所数	8	8	8	9	9

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

保護者のニーズに応じて保育所及び認定こども園で一時預かりを利用できるよう、保育士の確保を図ります。

また、リラットの一時預かりを通じて、市内の保育所及び認定こども園での一時預かりの促進につなげます。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

（人日・か所）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
保育所・認定こども園	量の見込み㊤	3,932	3,632	3,396	3,255	3,148
	確保方策（提供量）㊦	15,928	15,928	15,928	15,928	15,928
	過不足（㊦－㊤）	11,996	12,296	12,532	12,673	12,780
	市内実施箇所数	8	8	8	8	8
子育てリフレッシュ館	量の見込み㊤	1,276	1,178	1,101	1,055	1,020
	確保方策（提供量）㊦	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590
	過不足（㊦－㊤）	314	412	489	535	570
	市内実施箇所数	1	1	1	1	1
合計	量の見込み㊤	5,208	4,810	4,497	4,310	4,168
	確保方策（提供量）㊦	17,518	17,518	17,518	17,518	17,518
	過不足（㊦－㊤）	12,310	12,708	13,021	13,208	13,350
	市内実施箇所数	9	9	9	9	9

【量の見込みと確保方策】（区域別）

（人日・か所）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
西北	量の見込み㊦	1,350	1,246	1,165	1,117	1,080
	確保方策（提供量）㊧	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	過不足（㊧－㊦）	1,050	1,154	1,235	1,283	1,320
	実施箇所数	1	1	1	1	1
東北	量の見込み㊦	357	330	309	296	286
	確保方策（提供量）㊧	1,220	1,220	1,220	1,220	1,220
	過不足（㊧－㊦）	863	890	911	924	934
	実施箇所数	1	1	1	1	1
東	量の見込み㊦	1,133	1,047	979	938	907
	確保方策（提供量）㊧	4,666	4,666	4,666	4,666	4,666
	過不足（㊧－㊦）	3,533	3,619	3,687	3,728	3,759
	実施箇所数	2	2	2	2	2
西	量の見込み㊦	383	354	331	317	307
	確保方策（提供量）㊧	4,172	4,172	4,172	4,172	4,172
	過不足（㊧－㊦）	3,789	3,818	3,841	3,855	3,865
	実施箇所数	2	2	2	2	2
西南	量の見込み㊦	657	607	567	544	526
	確保方策（提供量）㊧	2,240	2,240	2,240	2,240	2,240
	過不足（㊧－㊦）	1,583	1,633	1,673	1,696	1,714
	実施箇所数	1	1	1	1	1
南	量の見込み㊦	52	48	45	43	42
	確保方策（提供量）㊧	1,230	1,230	1,230	1,230	1,230
	過不足（㊧－㊦）	1,178	1,182	1,185	1,187	1,188
	実施箇所数	1	1	1	1	1

※ 子育てリフレッシュ館は単独で全市域を対象とすることから上記区域別とは別途量の見込みを計上しています。

子育てリフレッシュ館 （再掲）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み㊦	1,276	1,178	1,101	1,055	1,020
確保方策（提供量）㊧	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590
過不足（㊧－㊦）	314	412	489	535	570
実施箇所数	1	1	1	1	1

サ 病児保育事業

【事業概要】

子どもが発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育する事業及び保育中に体調不良となった子どもを保育所の医務室等において看護師等が緊急的な対応等を図る事業です。

【実績】

(人日・か所)

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績	病児対応型	1,691	1,720	1,746	1,743	1,672
	体調不良児対応型	4,097	3,962	3,441	3,787	4,169
	合計㊦	5,788	5,682	5,187	5,530	5,841
確保量㊧		5,788	5,682	5,187	5,530	5,841
過不足 (㊧-㊦)		0	0	0	0	0
市内実施箇所数		16	15	16	17	18

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

引き続き、事業を実施し、病気や体調不良になった児童に対して、適切な保育を行い、安心して子育てができる環境の整備を推進します。

また、病児対応型について、市内実施箇所が2施設であり、地域によって利用しづらい場合もあることから、地域のニーズを踏まえ、今後の在り方について検討します。

【量の見込みと確保方策】(市域全体)

(人日・か所)

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み	病児対応型	1,693	1,643	1,587	1,539	1,500
	体調不良児対応型	4,222	4,097	3,959	3,836	3,741
	合計㊦	5,915	5,740	5,546	5,375	5,241
確保方策(提供量)㊧		12,306	12,306	12,306	12,306	12,306
過不足(㊧-㊦)		3,221	3,490	3,788	4,051	4,257
市内実施箇所数		19	19	19	19	19

シ ファミリー・サポート・センター事業

【事業概要】

保護者の仕事と家庭の両立及び子どもの健やかな育成を支援するため、子どもの預かり等の援助を受けることを希望する者（依頼会員）と、援助を行うことを希望する者（提供会員）との相互援助活動に関する連絡・調整を行う事業です。

（相互援助活動の例：子どもの預かり、送迎など）

【実績】

（人日）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績 [㊤]	2,303	2,477	2,020	1,571	2,356
確保量 [㊥]	2,303	2,477	2,020	1,571	2,356
過不足（㊥－㊤）	0	0	0	0	0

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

支援体制を充実するため、様々なイベントや地域の子育てサロンなどでの周知を行い、提供会員の更なる確保に努めます。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

（人日）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
量の見込み [㊤]	2,319	2,260	2,197	2,127	2,068
確保方策（提供量） [㊥]	2,319	2,260	2,197	2,127	2,068
過不足（㊥－㊤）	0	0	0	0	0

ス 妊婦健康診査

【事業概要】

妊婦の健康保持および増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施します。

【実績】

(人・回)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象人数	1,902	1,733	1,704	1,571	1,578
健診回数	22,963	21,210	20,302	18,396	17,973

※ 令和元年度の実績は見込み値です。

【今後の方向性】

今後も引き続き、妊婦健康診査費用の一部を助成し、妊婦の経済的負担軽減と健康管理に努めます。

【量の見込みと確保方策】(市域全体)

(人・回)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象人数	1,532	1,484	1,430	1,383	1,338
健診回数	18,384	17,808	17,160	16,596	16,056

セ 実費徴収に係る補足給付を行う事業

【事業概要】

令和元年10月から実施される幼児教育無償化の一環として、従来の就園奨励費の対象となる私立幼稚園に通園している年収360万円未満相当世帯の園児及び全所得階層の第3子以降の園児の副食費（おかず）相当額の給付を行います。

【今後の方向性】

国や他市の動向を注視し、引き続き事業を実施していきます。

【量の見込みと確保方策】（市域全体）

（人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込み	335	309	283	275	271
確保方策（提供量）	335	309	283	275	271

ソ 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

【事業概要】

教育・保育施設等への民間事業者の参入促進に関する調査研究・多様な事業者の能力を活用した施設の設置・運営を促進するための事業(特別支援教育に関する支援等)です。

【今後の方向性】

国の実施要綱に基づく「新規参入施設等への巡回支援」「認定こども園特別支援教育・保育経費」についての検討を行います。